

一編下

松多記

長巻

車

好

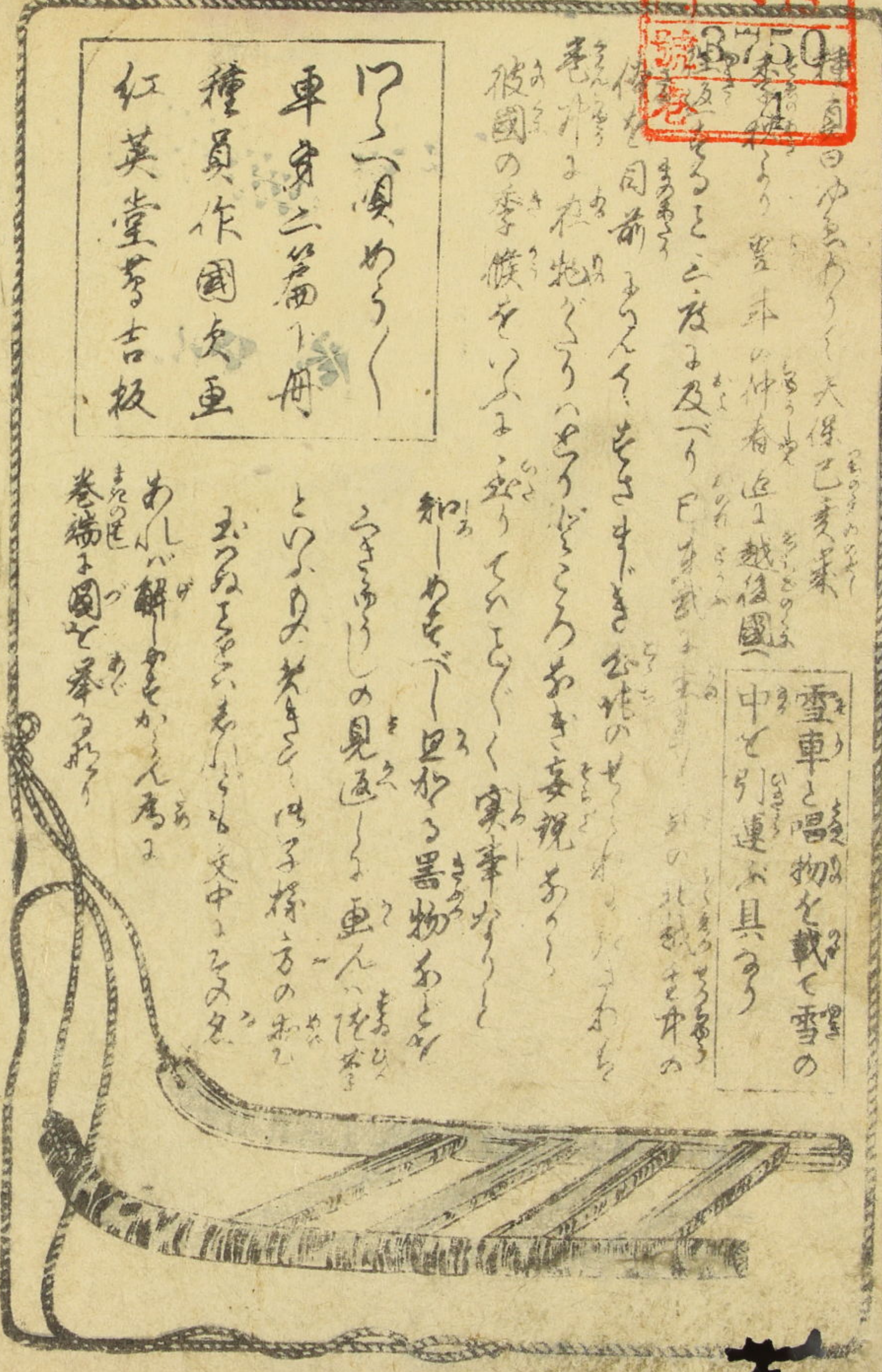
~ 13
3750
4





紅英堂吉板
 種員作國文重
 車身之篇一冊
 紅英堂吉板

明へ12
 3750
 紅英堂



雪車と唱物を載て雪の中を引運ぶ具あり

彼國の季候をいふに及べり
 知一れをべし思わす器物あり
 といふのめ共きと
 わしハ解りてかかん馬
 巻端子園と奉るなり

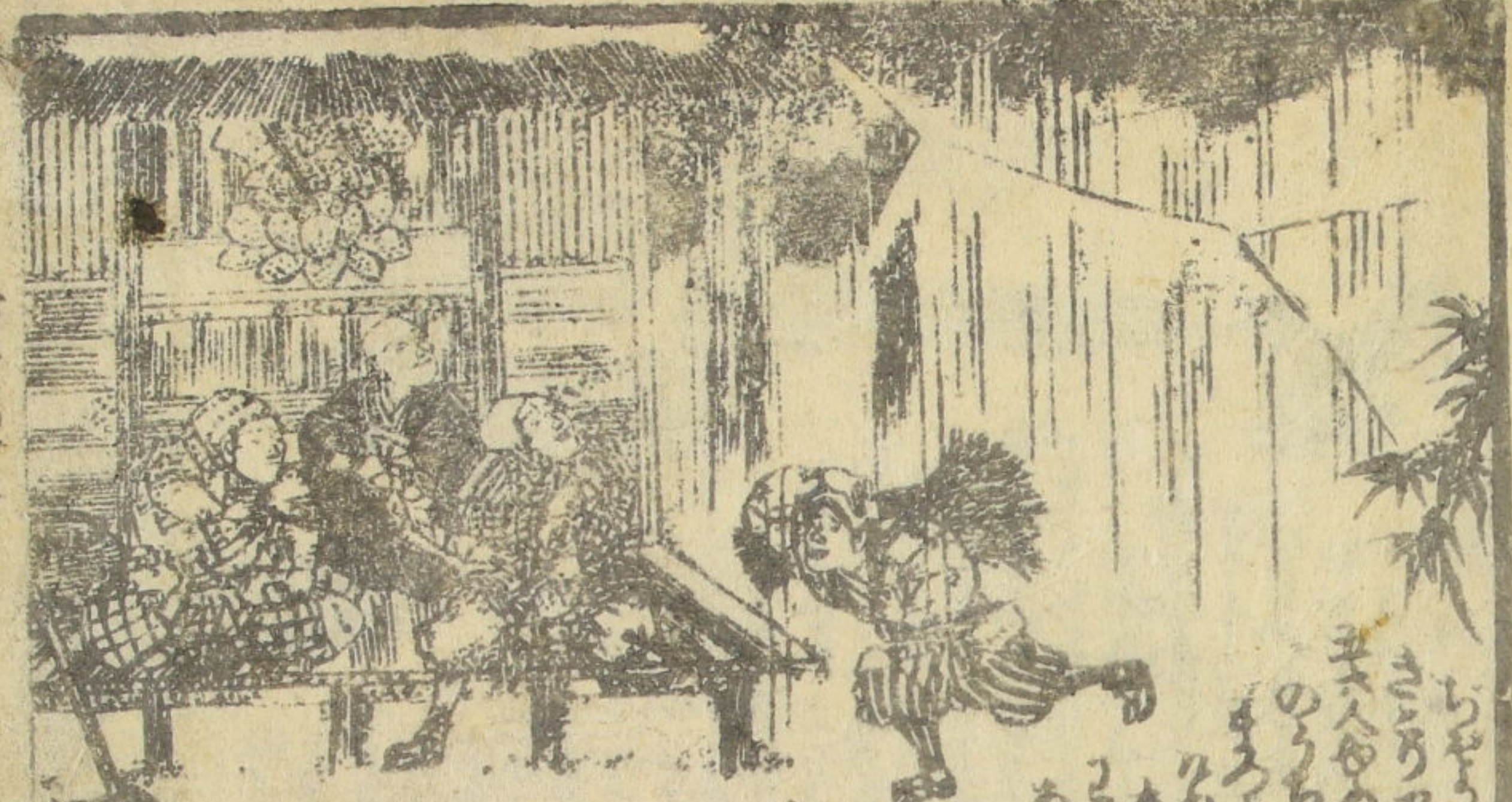


製藥所 新吉原 柳下
 取次 明浅草 今何
 王壺生肌膏 貝丹
 驗愈奇功紙
 此膏之功效...
 凡一切之瘡...
 此膏之功效...
 凡一切之瘡...

此膏之功效...
 凡一切之瘡...
 此膏之功效...
 凡一切之瘡...



此膏之功效...
 凡一切之瘡...
 此膏之功效...
 凡一切之瘡...



Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a play script or commentary, located below the illustration on the left page.



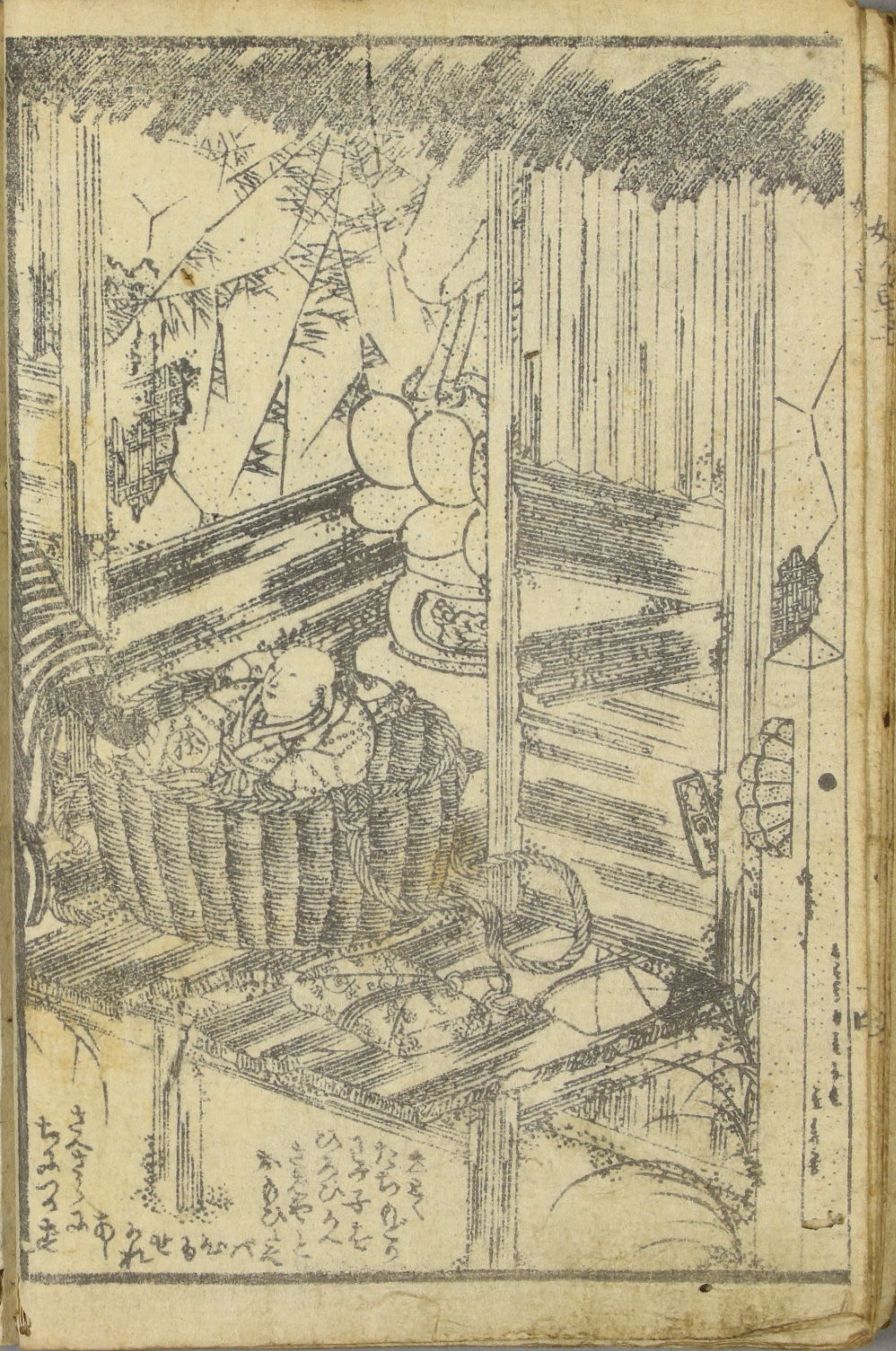
Handwritten Japanese text in vertical columns, including a title '霜と我子を捨んと' and other annotations, located on the right page.



浦の娘は
あんなに
可愛らしい
おこねは

いすてき
なにか
おかしな
おこねは
おかしな
おかしな
おかしな
おかしな

おかしな
おかしな
おかしな
おかしな
おかしな
おかしな
おかしな
おかしな



おかしな
おかしな
おかしな
おかしな
おかしな
おかしな
おかしな
おかしな



三日月の夜より
あつちのあたりに
あつちのあたりに
あつちのあたりに
あつちのあたりに
あつちのあたりに
あつちのあたりに
あつちのあたりに

あつちのあたりに
あつちのあたりに
あつちのあたりに
あつちのあたりに
あつちのあたりに
あつちのあたりに
あつちのあたりに
あつちのあたりに

あつちのあたりに
あつちのあたりに
あつちのあたりに
あつちのあたりに
あつちのあたりに
あつちのあたりに
あつちのあたりに
あつちのあたりに



且此切助と
人人物の
適後編一
出でよれバの子様方
かみらど見止まきこあさ
三月程
黄金を
拾ひ
我子や持
精七助の
寶意を
告は是の
拾ひ

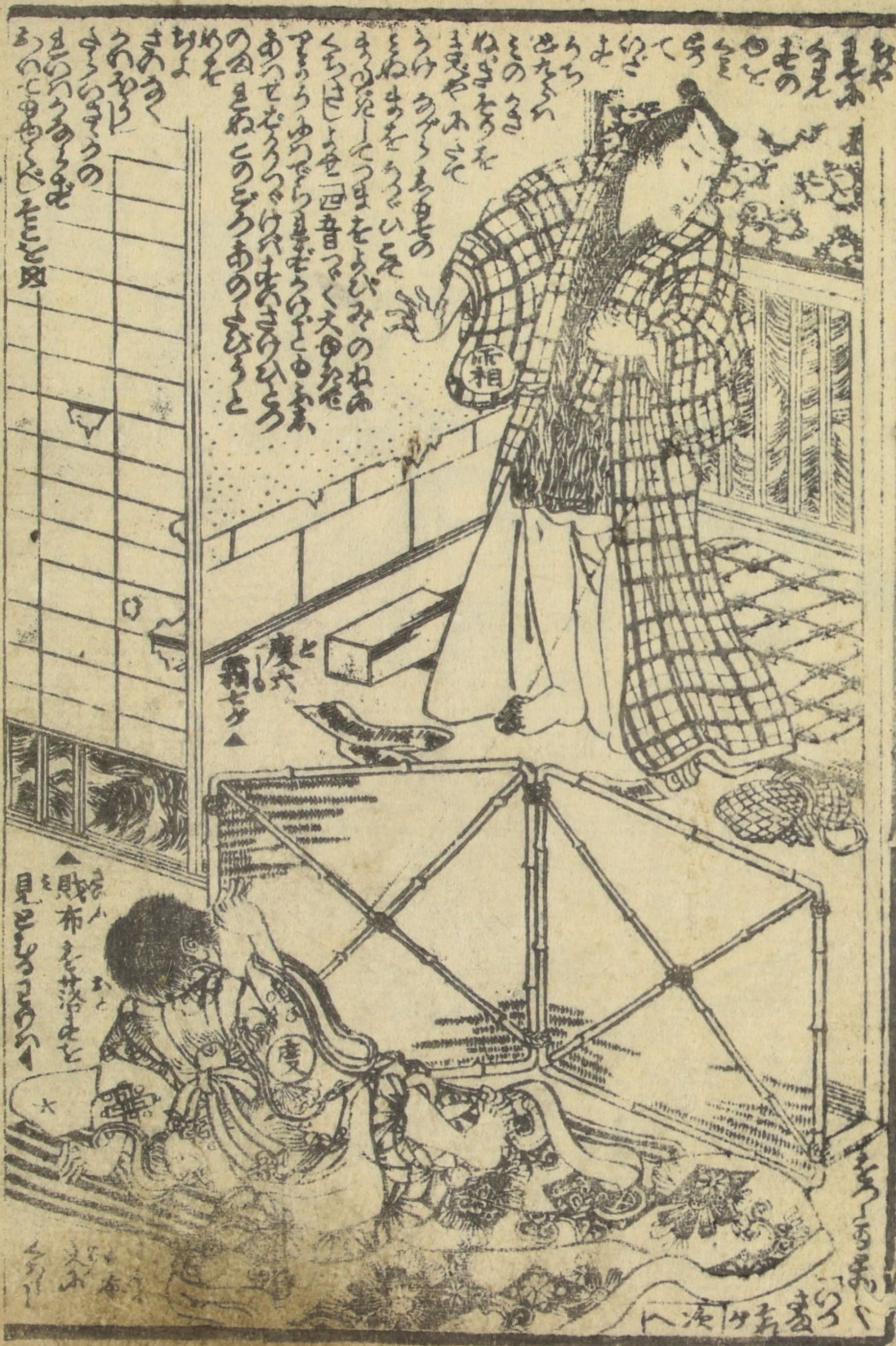
三日月の夜より
あつちのあたりに
あつちのあたりに
あつちのあたりに
あつちのあたりに
あつちのあたりに
あつちのあたりに
あつちのあたりに

あつちのあたりに
あつちのあたりに
あつちのあたりに
あつちのあたりに
あつちのあたりに
あつちのあたりに
あつちのあたりに
あつちのあたりに

砂々車二

十六





種員作國貞画



湯ノ谷道 佐名志川

新局九尾傳 七編より 爲水春水作
一編より 梅蝶樓國貞画

室町源氏胡蝶卷 十二編種彦作
十三編種彦作
十四編國貞画
十五編國貞画

假名情談戀睡倉 四編如泉作
大尾國貞画

童謡妙々車 廿二編種彦作
廿三編種彦作
廿四編國貞画

薄倂幻日記 十七編春水作
十八編國貞画
十九編國貞画

七姉葛飾譚 九編種彦作
一編國貞画



南傳馬車 廿一編種彦作
鳥屋古藏初

明鴉墨画廻福 十二編種彦作
十三編種彦作
十四編國貞画
十五編國貞画

花封谷草 十編種彦作
大尾國貞画

尖傳犬の双紙 四編種彦作
五編種彦作
六編國貞画
七編國貞画

